

鶴川東地区新校舎建設について

1 新校舎建設の手法検討について

町田市では、民間の様々なノウハウを活用して小学校を含めた公共施設の整備を効率的、効果的に進めていくことを目的として、「町田市 PPP/PFI 手法導入にかかる優先的検討の基本方針」を定めています。

教育委員会ではこの方針に基づき、2022 年度に、新校舎の建設等について「民間活力導入可能性調査」を実施しました。その結果、本町田地区・南成瀬地区・南第一小学校地区の新校舎は「PFI（Private-Finance-Initiative（プライベート・ファイナンス・イニシアチブ））手法※」を用いて建設等を行うこととなりました。

一方で、鶴川東地区については、鶴川東地区に仮校舎を建設する必要があることなどから、従来の方式で新校舎を建設することとなりました。また、鶴川西地区については、鶴川第三小学校を分割して統合することから、鶴川東・西地区の新たな学校づくりには整合性を持たせる必要があることなどを踏まえ、現在 適切な手法を検討しています。

そのため、「新たな学校づくり基本計画検討会」で示していた新校舎使用開始までのスケジュールには変更ありませんが、再度内容を共有させていただきます。

※ 「PFI 手法」とは

学校のような公共施設の設計・建設やその後の維持管理・運営などの業務について、これまでのように行政が仕様を定めそれぞれの業務ごとに契約するのではなく、求める性能を示したうえで、すべての業務を一括して契約することです。



2 新校舎建設のスケジュール

(1) 鶴川東地区

対象	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
鶴二小	既存校舎		仮校舎 建設	統合	新校舎建設		☆新校舎使用	
		工事 開始			仮校舎			
鶴三小 (一部)	既存校舎		※既存校舎					

※既存校舎を教室転用して使用予定。下記「鶴川西地区参照」

(2) 鶴川西地区

対象	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
鶴四小	既存校舎		統合	新校舎建設		☆新校舎使用		
鶴三小 (一部)	既存校舎			教室転用工事	既存校舎+教室転用工事分			

3 鶴川東地区新校舎建設までの今後の変遷について

別添 4-2「鶴川東地区仮設計画想定工程表」をご覧ください。

※第 11 回鶴川東地区新たな学校づくり基本計画検討会の資料 2 と同様の内容になります。